

商品名 セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」 医薬品基本情報

薬効	6132 セフェム系抗生物質製剤	一般名	セフェピム塩酸塩水和物注射用
英名	Cefepime dihydrochloride SANDOZ	剤型	注射用
薬価	522.00	規格	1g 1瓶
メーカー	サンド	毒劇区分	

セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」の効能・効果

敗血症、深在性皮膚感染症、(外傷、熱傷、手術創)の二次感染、肛門周囲膿瘍、肺炎、肺膿瘍、扁桃周囲膿瘍、扁桃炎、慢性呼吸器病変の二次感染、子宮内感染、子宮旁結合織炎、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎、胆管炎、胆嚢炎、中耳炎、副鼻腔炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞、発熱性好中球減少症

セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止

2. 腎障害

記載場所	用法・用量
注意レベル	慎重投与

3. 類薬で過敏症の既往歴、アレルギーの家族歴、気管支喘息の家族歴、蕁麻疹の家族歴、発疹の家族歴、アレルギーを起こし易い体質、気管支喘息を起こし易い体質、蕁麻疹を起こし易い体質、発疹を起こし易い体質、経口摂取の不良、全身状態の悪い、非経口栄養、高度肝障害

記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」の副作用等

1. 溶血性貧血

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

2. 血小板減少、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、LDH上昇、 γ -GTP上昇、LAP上昇、肝機能障害

記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満

3. ショック、アナフィラキシー、呼吸困難、全身潮紅、血管浮腫、蕁麻疹、血圧低下、偽膜性大腸炎、血便、重篤な大腸炎、腹痛、頻回の下痢、急性腎障害、汎血球減少、無顆粒球症、発熱、咳嗽、胸部X線像異常、好酸球増多、間質性肺炎、PIE症候群、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens－Johnson症候群、黄疸、意識障害、昏睡、痙攣、振戦、ミオクロヌス、精神神経症状	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
4. 過敏症、発疹、貧血、顆粒球減少、好酸球増多、血小板増多、BUN上昇、クレアチニン上昇、蛋白尿、AST上昇、ALT上昇、Al－P上昇、LDH上昇、γ－GTP上昇、ビリルビン上昇、下痢、悪心	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
5. 蕁麻疹、紅斑、そう痒、発熱、血清カリウム上昇、LAP上昇、嘔吐、食欲不振、腹痛、便秘、めまい、しびれ、菌交代症、カンジダ症、口内炎、ビタミンK欠乏症状、低プロトロンビン血症、出血傾向、ビタミンB群欠乏症状、舌炎、神経炎、頭痛、気分不良、血圧低下、顔面紅潮、悪寒、味覚異常	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
6. 急性腎不全、重篤な腎障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、溶血性貧血	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. AST上昇、ALT上昇	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 発疹、肝機能異常、ビタミンK欠乏症状、発熱、アレルギー症状、下痢、消化器症状、出血傾向、意識障害、痙攣、精神神経症状、血管痛、血栓性静脈炎	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」の相互作用

- 薬剤名等：利尿剤

発現事象	類似化合物＜他のセフェム系抗生物質＞で腎障害増強作用
------	----------------------------

投与条件	-
------	---

理由・原因	利尿時の脱水による血中濃度の上昇
-------	------------------

指示	注意
----	----

セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」の配合変化

- 薬剤名等：ガベキサートメシル酸塩製剤

発現事象	配合直後に沈殿
------	---------

投与条件	-
------	---

理由・原因	-
-------	---

指示	禁止
----	----



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.